

科目名	公衆栄養学概論（卒業必修：栄養士必修：NR・SA 必修）				
授業形態	講義	学年	2		
開講時期	2022 年度 前期	単位数	2		
担当教員	鈴木 秀子				
内容および計画	<p>公衆栄養は、人々の健康の維持・増進、疾病の予防を目的として、地域や社会集団を対象に、健康・栄養施策や活動を実践していくものである。</p> <p>本講義では、公衆栄養の概念、日本における疾病構造及び栄養課題、社会状況の変化に伴って行われてきた健康・栄養政策・施策、公衆栄養活動を実践するための理論や評価方法、地域や職域の健康・栄養対策への活用方法について講義する。また、国際栄養や食環境整備、災害時における栄養・食生活支援についても講義する。</p>				
1	<p>ガイダンス</p> <p>公衆栄養概論</p> <p>・公衆栄養の目的と対象、公衆栄養活動の視点等について学ぶ。</p>				
2	<p>世界の健康・栄養問題と対策</p> <p>・世界の健康・栄養問題の現状と課題、国際的な栄養行政組織の概要について学ぶ。</p>				
3	<p>公衆栄養マネジメント</p> <p>・公衆栄養マネジメントの概要、健康・栄養政策の枠組み、ヘルスプロモーションの考え方とまちづくり、他について学ぶ。</p>				
4	<p>公衆栄養マネジメント</p> <p>・公衆栄養スクリーニング、アセスメントについて学ぶ。</p>				
5	<p>公衆栄養マネジメント</p> <p>・公衆栄養プログラムの計画、実施、評価の手順とポイント等について学ぶ。</p>				
6	<p>栄養疫学</p> <p>・栄養疫学の目的や内容、栄養学的暴露因子の評価方法について学ぶ。</p>				
7	<p>栄養疫学</p> <p>・栄養疫学の研究方法等について学ぶ。</p>				
8	<p>公衆栄養・健康づくり政策の変遷</p> <p>・日本の公衆栄養・健康づくり政策の変遷と栄養士の社会的役割について学ぶ。</p>				
9	<p>日本人の疾病構造・健康問題の変遷と現状</p> <p>・日本人の疾病構造・健康問題の変遷と疾病予防に必要な公衆栄養活動について学ぶ。</p>				
10	<p>食環境・食生活の推移と現状</p> <p>・社会環境や食環境の変化により人々の食生活がどのように変化したのかについて学ぶ。</p>				
11	<p>行政の仕組みと栄養政策</p> <p>・公衆栄養活動に関連する法律、制度、政策、施策の概略について学ぶ。</p>				
12	<p>行政の仕組みと栄養政策</p> <p>・日本の公衆栄養政策・施策について学ぶ（国民健康づくり運動、他）。</p>				
13	<p>行政の仕組みと栄養政策</p> <p>・日本の公衆栄養政策・施策について学ぶ（食育の推進、国民健康・栄養調査、他）</p>				
14	<p>行政の仕組みと栄養政策</p> <p>・日本の公衆栄養政策・施策について学ぶ（食品安全施策、高齢者保健・介護分野における栄養施策、他）</p>				
15	<p>行政の仕組みと栄養政策と地域特性に応じた公衆栄養プログラムの展開</p> <p>・日本の公衆栄養政策・施策及びについて学ぶ（災害時の公衆栄養プログラム、他）。</p> <p>・地域特性に応じた公衆栄養プログラムについて事例を通して学ぶ。</p>				
教科書					
	タイトル	著者名	出版社	ISBN	発行年
	『公衆栄養学（テキストブックシリーズ）』	吉池信男著	第一出版	9784804113876	2019

<b>参考書</b>	必要に応じて紹介する。			
<b>成績評価</b>				
	<b>評価方法</b>			<b>割合(%)</b>
	筆記試験			70
	課題等（リアクションペーパー含む）			30
<b>学習到達目標</b>	<p>公衆栄養の基礎的な概念を理解する。</p> <p>(1) 公衆栄養の概念について説明できる。</p> <p>(2) 公衆栄養マネジメントの概要について記述できる。</p> <p>(3) 栄養疫学について説明できる。</p> <p>(4) 日本の公衆栄養・健康づくり施策の変遷について説明できる。</p> <p>(5) 日本人の疾病構造・健康問題の変遷と現状について説明できる。</p> <p>(6) 食生活・食環境の推移と現状について説明できる。</p> <p>(7) 栄養施策と行政施策について説明できる。</p>			
<b>先修条件</b>				
<b>実務経験</b>	<p>実務経験あり：</p> <p>県の栄養技師として、総合病院、保健所に17年間勤務した。</p> <p>病院では傷病者に対する療養のため必要な栄養の指導をはじめ栄養管理や給食管理業務、保健所では地域の健康政策の企画・立案とそれに基づく健康づくり事業、乳幼児等の栄養相談、特定給食施設の指導や支援業務及び地区組織育成に従事した。</p> <p>この経験をもとに、食生活論、栄養指導論、栄養指導論演習、栄養指導論実習、公衆栄養学概論について教授する。</p>			
<b>その他</b>	<p>必ず、予習、復習をしましょう。</p> <p>また、実際に地域で行われている公衆栄養活動に参加してみましょう。</p>			